

目次

広報100号記念に寄せて	公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 会長 黒田 孝二	1
広報100号記念によせて	厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策 部長 鈴木 英二郎	2
広報100号記念によせて	公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会 会長 紀陸 孝	3
『マネキン』創刊100号をお祝いして	公益社団法人日本看護家政紹介事業協会 会長 戸刈 利和	4
広報100号記念によせて	公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 理事 小野 俊一	5
広報100号記念によせて	公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 理事 小林 克巳	
新任挨拶	厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部 室長 岩野 剛	6
	厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部 需給調整事業課 課長補佐 中野 知基	7
	厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部 企画課民間人材サービス推進室 室長補佐 田中 秀幸	8
人事異動		9
マネキン紹介業の歴史と道のり	広報部長 重田スミノ	10
マネキン100号歴代回想録		13
平成28年度 公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会「定時社員総会」「懇親会」		15
平成28年度 公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会 定時社員総会・表彰式・懇親会		16
「桜を見る会」にお招きをいただいて	株式会社 国際人材パワー沼津 片岡 喜志子	17
厚生労働大臣表彰を受賞して	東商株式会社 代表取締役 小金井 敬	18
	有限会社スリーエス 代表取締役 杉田 貴司	19
平成28年度 表彰受賞者		20
高澤清子様のご逝去を悼んで	株式会社アイダス・ユニバーサル 代表取締役 長畑 節夫	21
全紹協求人サイトのご報告、ご案内		22
「応募率を上げる求人原稿作成セミナー」開催		23
協会オリジナル手帳活用法! 2017年版 リニューアルのお知らせ		24
『百貨店食品安全衛生パスポート』第8版の発刊について		25
平成28年度 従事者研修会のお知らせ		26
「そろそろ、本音で語ろう!の会」開催のお知らせ		27
事務局だより		28

広報100号記念に寄せて

公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会

会長 黒田 孝二



日頃は、当協会の事業に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、広報誌『マネキン』が100号を迎えました。これを機に私が最初に理事を務めさせていただいてからの35年間を振り返ると、楽しい事が多く思い出され、苦勞したことも大切なほろ苦い思い出となっています。

当協会は、昭和55年に一般団体から社団法人となり、社会的な認知度も少しずつ上がってまいりました。会員数も350社を超え、その頃の広報誌は年4回(現在は、年2回)も発行していました。

また、北海道から九州までの各地区の連絡会が主導する総会・セミナーをセットした懇親旅行も賑やかに実施され、多い時には大型バス3台をチャーターする程の人数を集めました。

鈴木 克氏・中村光子氏・高部鐵也氏・白石絹子氏・私こと黒田。そして、石川和生氏・白石眞一郎氏と、素晴らしい会長の下で、私は理事としてお世話になりました。

さらに、当時の高部相談役のご尽力により、平成25年に当協会は公益社団法人となりました。社会情勢も著しく変化し続け、私が二度目に会長職を務めていた時期には財政面で最大の危機を迎えましたが、全国の会員各位のご寄付により、順調に活動できるように立ち直り、現在に至っております。

そこで、100号記念を出すにあたり、「原点回帰」という意味で、マネキンの定義に立ち返る必要があると考えます。「専門的な商品知識及び宣伝技能を有し、店頭・展示会場において相対する顧客の購買意欲をそそり販売の促進に資するため、各

種商品の説明・実演等の宣伝の業務(この業務に付随した販売の業務を含む)を行う者」とあります。現在の「マネキン」は、社会情勢の変化・雇用契約の厳格化や法改正等により、もともとの定義とは違ってきていますが…。

メーカーの社員と同様の福利厚生も完備され、販売専門のエキスパートとしての業務以外に、付帯業務等もマネキンさんの仕事になっています。

マネキンさんの生活の安定や安心が確保される状況となり、それは幸せな事です。ただ、私達はそれだけに甘んじることなく、スキルを持った販売のエキスパートを現場に送り込むという自負や責任も忘れてはならないと思います。

そこで、少子高齢化による若者の人口減少傾向の中、スキルを持ったベテランさんを企業に活用していただくためにも教育は必須です。原点に戻り、創意工夫をしながら売り上げにつなげるプロのマネキンさんを育てる責任を改めて感じ、それを実行する事により、マネキンさんの日当アップと、自信を持って高い料率の紹介手数料を申し受けられるのだと思います。

昨年、皆様のご協力のもと、ホームページをリニューアルし求人サイトを立ち上げました。徐々にこの募集効果が上がってきております。今後も力を合わせ時代の流れに乗り、ご一緒に前進してまいりましょう。

末筆ながら、皆様のお役に立てる協会を運営するよう邁進する決意を改めてお伝えするとともに、会員事業所の皆様の益々のご繁栄ご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

広報100号記念によせて

厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部長

鈴木 英二郎



全紹協の皆様におかれましては、日頃より職業安定行政の運営に多大なる御協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、本号で全紹協広報誌「マネキン」が第100号を迎えられたことにつきまして、全紹協と会員の皆様方のこれまでの絶え間ない努力の賜であるとお喜び申し上げます。

私は、本年6月に派遣・有期労働対策部長に就任いたしました。平成19年から23年まで需給調整事業課長として、平成25年から26年まで企画課長として、職業紹介事業関係の仕事をやらせていただいておりますので、皆様と一緒に仕事をするのはこれで3度目ということになります。

皆様方の100号という歴史からみるとほんの一部ですが、その間にも雇用・労働環境は大きく変化してきております。需給調整事業課長をつとめていた頃は、ちょうどリーマンショックと東日本大震災のダブルパンチがマネキン業界をも襲い、消費が低迷する中、いかにして良質な求人を確保するか、皆様方が奔走していたことを覚えております。対しまして昨今の状況をみると、少子・高齢化とそれに伴う労働力人口の減少という、世界のどの国もが経験したことがない道の先頭を日本が進んでおり、一転して求職者不足という状況になっております。

6月2日に「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定されましたが、その中心テーマがまさに少子高齢化の進行とそれに伴う労働供給の減少にいかに対処するかでありました。私ども職業安定行政は、長らく「いかに失業者を減らし完全雇用を目指すか」という行政課題に取り組んできましたが、現在の方向はこれとは180°異なっております。後世からみるとこの「プラン」は、職業安定施策の歴史的転換点と評価されるものかもしれません。

労働供給の減少にいかに対処するか、という方策は様々考えられますが、最も基本的でかつ最も重要なことは、求人者に働きかけて魅力ある雇用の場を作っていただくとともに、そこに優秀な求職者をマッチングすることにより、労働者に労働市場に出てきてもらうことであり、それ以上ものはないと考えています。まさに、皆様方が日頃から努めていらっしゃる紹介事業そのものです。

今後、東京オリンピック・パラリンピックの開催やEU・アジア諸国の動向などに雇用環境も影響を受けていくと思いますが、皆様方とともに厚生労働省も難関に当たっていきたくと考えておりますので、「これまでの100号」までの道程と同様に「次の200号」までにつきましてもよろしく御支援・御協力をお願い申し上げます。

広報100号記念によせて

公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会

会長 紀陸 孝



公益社団法人全日本マネキン事業協会(全紹協)の広報誌『マネキン』が、創刊100号を迎えられましたこと、まことにおめでとうございます。このように立派な広報誌『マネキン』が継続的に刊行されてきましたことに、心から賛辞と敬意を表します。

申し上げるまでもなく、全紹協は、昭和35年の全国マネキン紹介所連合会の結成以来、我が国における職業別職業紹介事業団体として確固たる地位を築き、昭和55年の社団法人化、平成25年の公益法人化を経て現在のように発展を遂げてこられました。

この間、広報誌『マネキン』は、常に全紹協会員の傍らに在りました。そして、質の高い誌面作りをとおして、会員に各種の生きた情報を届け、また会員の立場に立って喜びや感激を伝え、全紹協の発展と会員相互の連携・支え合いにまことに大きな役割を果たしてこられました。

広報誌『マネキン』が継続的に素晴らしい誌面を提供してこられた推進力として、企画・編集等に携わってこられた事務局の皆様のご尽力があることは言うまでもありませんが、さらに加えて、会員の心をつなぐよう熱意を傾けられた歴代の会長各位のご配慮があったと拝察する次第です。

平成25年4月、公益法人化を遂げた直後の広報誌『マネキン』(2013年・夏号)において、黒田会長は、魅力ある「全紹協」づくりを目指すとしつつ、「会員同士が、真摯に情報交換をして相

互理解を深め、地域の情報・今日の出来事について素直に話ができ、全国の会員が、同じ情報を共有できる全紹協でありたい」と会員の相互理解を重視する基本姿勢を述べておられます。そしてその後の事業活動の展開においても、「意見交換会」の開催や教育研修の充実などに取り組んでおられますが、こうしたトップの会員の相互理解や情報共有を重視する思いが、広報誌『マネキン』を育ててこられたのではないかと思います。

目を社会に転じてみますと、有効求人倍率が四半世紀ぶりの高さとなり、人手不足が進んでおります。我々の従事する業界・職業分野に多くの人々が参加してくれるよう、その魅力を高めていく必要が高まっています。

また、平成28年6月に、厚生労働省が「雇用仲介事業の在り方に関する検討会報告書」を取りまとめ、今後法制化を含めた充実策の検討がすすめられます。職業紹介事業においても、業界のコンプライアンスを高め、事業の質的向上を図り、そこで働く従事者一人ひとりのスキルを高めていくことが求められてくると考えられます。

今後の職業紹介事業を取り巻く情勢を考えますと、従来以上に関係者の相互理解と研鑽が必要になるといえます。こうした中で、広報誌『マネキン』が引き続き全紹協及び我が国の職業紹介事業の発展に重要な役割を果たしていただけるものをご期待申し上げる次第です。

『マネキン』創刊100号を お祝いして

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

会長 戸蒔 利和



全紹協広報『マネキン』の創刊100号おめでとうございます。

昭和55（1980）年10月1日に法人化した公益社団法人全日本マネキン紹介事業協会の機関誌として、永年にわたり、マネキン紹介事業の発展と協会会員の皆様方の結束強化に大きな役割を果たしてこられたことは、ご同慶の至りであります。私自身は、これまで定時総会などの記事や写真に何度も登場させていただいているうえ、平成22（2010）年夏発行の協会創立50周年・社団化30周年記念号に記念講演録を18ページにわたり掲載いただくなどしており、個人的にも、『マネキン』に大変親しみを感じているところです。

全紹協の社団化以降今日までの35年間は、安定成長からバブル経済、そしてバブル崩壊による長期デフレ、リーマンショックと激動する経済環境への対応に苦心しつつ、労働者派遣法の制定、許可職業のネガティブリスト化や紹介手数料の届出制等を内容とする職業安定法の抜本改正などにより、事業運営の改革や新規参入してくる各種の人材サービス事業者との競争に迫られるなかで、ひたすら、マネキンさん達の商品知識と宣伝販売技術の向上に取り組むことにより、求職者の雇用の確保とクライアント（求人者）へのサービスの強化に奮闘されてきた歴史であると心から敬意を表する次第です。

少子高齢化がさらに加速し、グローバル化が一層進展するなかで、マネキン紹介業界のこれからを考えると、子育て世代や高齢となった団塊世代による消費行動の個性化、多様化、インバウンド消費とよばれる訪日外国人による商品購買の急拡大など、新たなビジネスチャンスにうまく対応していくことができるかどうか、キーポイントになると思います。そのためには、マネキンさん達の接客・販売技術をさらに高め、職業紹介機能の強化とともに派遣や請負なども兼ね備えてクライアントのニーズにマッチするサービス提供体制を整え、加えてコンプライアンス（法令順守）を徹底することにより、派遣・請負事業者に対抗できる競争力を高めること、そして、会員の結束をより固め、業界としてクライアントとの交渉力を強化していくことが重要と考えます。

全紹協が今後ますます発展し、『マネキン』が200号、300号と発行され続けることをお祈りいたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

広報100号記念によせて

公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会

理事 小野 俊一



本年夏号をもって記念すべき100号を迎えられた「全紹協広報マネキン」に心からお祝いを申し上げます。

約50年にわたり、協会の正式な機関広報誌を絶やすことなく発行し続けてきた歴代の協会広報担当の皆様、そして100号に至るまで暖かいご支援とご指導に当たられてきた会員の皆様に深甚なる敬意を表します。

皆様ご高承のとおり、協会広報「マネキン」は、マネキン職業紹介事業が法令遵守の下、適正かつ円滑に運営されるための「啓発」を積極的に行い、求人者就労先等に職業紹介事業の仕組みやルールを理解を深めてもらうことをその目的としています。

それにより、マネキンとして働く者の地位向上と雇用の安定化並びに紹介所の健全な発展を図る

こと、そして我が国のマネキン職業事業における労働力需給の適正化と雇用の安定化に寄与していくことが期待されています。

広報「マネキン」は発行以来今日に至るまで幾多の苦難を乗り越えその目的と期待される役割を全員の努力によりみごとに果たしてきたと確信しています。

全紹協を取り巻く環境は今後益々激しさを増し大きくなっていくことが予想される中であって、広報「マネキン」は協会の単なる重要な武器としての役割を担うだけでなく、我が国の「人材市場における先進的広報」として今後益々重要な役割を果たしていくべきではないかと私は思っています。

更なる200号に向けて広報「マネキン」が大きく飛躍されんことを切に期待するものであります。

広報100号記念によせて

公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会

理事 小林 克巳



当協会は、平成25年4月1日に「公益社団法人」として新たにスタートしてから3年余りが経過し、黒田会長を始め役員皆様の滅私奉公によるご尽力により、財政の健全化を図りつつ、着実な歩みを刻んで参りました。

私は当協会に関わって15年以上経ちますが、その間で最も印象深いのは公益社団法人への移行認定申請に携わったことです。

平成20年12月1日施行の公益法人制度改革により、5年以内に「公益社団法人」が「一般社団法人」に移行することが要請されました。両方のメリット・デメリットを整理しながら、検討委員会や理事会で議論し、最終的に理事会で「公益社団法人」を目指すことを機関決定し、総会に諮り了承されたのが、平成23年5月。実は、そこからが大変でした。

翌年の総会までに、具体的な事業内容を定め、膨大な量の規定類を整備し、移行認定申請書を完

成させなければなりません。協会の憲法である「定款」を練り上げるとともに、公益事業目的を具体的にどうするか、収益事業を行うのが否が…。決定すべき事項は山ほどありました。当時の白石会長を始め執行部の皆様、鈴木事務局長、小野理事、三沢アドバイザーと連携し、一つひとつ検討を行いました。また、幾度となく内閣府に出向いてはヒアリングを行い、細部を詰めていったのです。

そして、平成24年5月の総会にて「新定款」、「認定申請書」等を承認いただき、同年10月に内閣府に移行認定を申請。その後、内閣府による審査と補正を経て、平成25年3月に移行が認定。長い道のりであったと、安堵したことを今でも思い出します。

「公益社団法人」の生みの苦しみを振り返り、改めて「公益」の意義を再認識するところです。会員皆様の建設的で積極的な協会活動を通じて、公共の利益への貢献と、職業紹介事業の大いなる発展に繋げて参りたいと思います。

100号記念に寄せて

厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部
企画課 民間人材サービス推進室



室長 岩野 剛

公益社団法人全日本マネキン紹介事業協会の会員の皆様には、日頃より厚生労働行政とりわけ職業安定行政に関しまして、多大なるご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

このたび、6月21日付け民間人材サービス推進室長を拝命いたしました岩野でございます。昨年の秋頃まで需給調整事業課に1年ほど居りましたので貴協会の皆様にお目にかかるのは2度目になります、どうぞよろしく願いいたします。

2016・夏号で記念すべき100号の出版おめでとうございます。これまでの積み重ねのご苦労のほど本当に敬服いたします。

さて、夏号ということでありまして、今年の夏も大変暑くなっています、室内外の過ごし方は体温調節が難しかったりして熱中症などに気をつけるようにとよく言われておりますが、皆様もご配慮されてお過ごしのことと思います。

私ども役所の建物と言えば、エアコンが良く効いているのではと思われがちではありますが実はそうでもなく、光熱費を節約するように室温が設定されているので、あまり快適とはいえない水準です。しかも夜6時半頃には空調も止ってしまうのでその後は扇風機で熱風を拡散させながら仕事をするようになります。職員は

みんなクール繊維など最新の素材や工夫で乗り切っています。

そのような中で、最近の衣類はとても便利だなと感じています、暑い夏にはクール素材、寒い冬にはウォーム素材、雨には水を通さず空気を通す素材などインドア・アウトドアのそれぞれ使う人のスタイルに応じて、しっかりと機能強化に取り組み発展しているのは感心させられるばかりです。

人材サービスを取り巻く状況も目覚ましく変わってきております、IT化やグローバル化等雇用を取り巻く社会や経済が変化するとともに、外部労働市場において社会的インフラを担う人材サービスも多様化し、働く人のライフスタイルやそれぞれの価値観に対応した更なる雇用のマッチング機能強化による発展が期待されております。

貴協会の皆様におかれましても引き続き求人者、求職者の方々へのフレキシブルなサービスの向上や機能強化に努められ、柔軟で多様なスタイルの働き方の実現にご尽力を賜りたいと思います。

最後になりますが、厚生労働行政へのより一層のご協力とご支援を賜りますようお願いして、新任のご挨拶とさせていただきます。

新任のご挨拶

厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部
需給調整事業課

課長補佐 **中野 知基**



このたび、4月1日付で職業紹介事業を担当させていただくこととなりました、職業安定局 派遣・有期労働対策部 需給調整事業課 課長補佐の中野でございます。二十数年の行政歴の中で当課での業務は初めてでございますが、精一杯勤めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

改めまして、常日頃より協会及び会員の皆様には、民間職業紹介事業の運営に多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず始めに、4月に発生した熊本地震でございますが、亡くなられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された多くの方々に対して心からお見舞い申し上げます。私ども厚生労働省、特に雇用分野に関しましては、労働者の方々の雇用維持支援等を実施しているところですが、被災された方々の安心のため1日も早い復興を願う次第であります。

さて、政府はアベノミクス第三の矢である「日本再興戦略」を策定し、成長戦略を実施していますが、最近の景気は全体としては回復基調ではあるものの、最近になって英国のEU離脱による円高・株安の進行など、一部不透明感がありますが、政府の各種対策、政策面からの下支え等より、緩やかながらも底堅さを取り戻していくのではないかとの見通しもあるようです。こうした中、雇用情勢を見ますと、有効求人倍率は、1.3倍台で高い状況にあります。

ハローワークでは求人、求職者のマッチングには最大限の努力をしておりますが、よりの確

なマッチングのためには、官と民が連携し、民間の得意分野においては民間の事業者の力を活用していくことが、より効果的であります。特に、「マネキン」のようにハローワークでの取扱いが少ない分野においては、求人、求職者にとっては皆様方をお願いすることが大半だと思っておりますので、これまでと変わらず、利用者から満足いただける事業展開がなされますよう、全紹協会員の皆様のご活躍を期待いたします。

昨今では、コンプライアンス（法令遵守）という言葉が定着しておりますが、職業紹介事業者に対する法令違反による行政処分が毎年少なからず発生しており、当該処分等が下されると、個々の事業者はもちろん業界全体にダメージがあります。職業紹介はご承知のとおり「雇用関係成立のあっせん」で、あっせんとは「雇用関係の成立が円満に行われるよう第三者として世話をすること」であります。皆様には職業紹介を行うことで公益的な面も担っていただいておりますので、適切な事業運営をお願いし、全紹協様におかれとも会員の皆様が適切な事業運営を行うための支援等に取り組んでいただければ幸いです。

最後になりますが、全紹協会員の皆様におかれましては、黒田会長のもと、業界の健全な発展を図り、より良い事業が実施されますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展を祈願いたしまして、新任の挨拶にかえさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

新任のご挨拶

厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部
企画課民間人材サービス推進室

室長補佐 田中 秀幸



このたび、4月1日付けで人材サービス業界の皆様との連絡窓口を担当させていただくことになりました、職業安定局派遣・有期労働対策部企画課 民間人材サービス推進室 室長補佐の田中でございます。これまで、職業紹介事業とはほとんどと言って良いほど縁がなく、まして、初めて「マネキン紹介」と聞いたとき、恥ずかしながら「人形」を思い浮かべ、それを紹介するの?などと考えたこともあったぐらいです。また、業界の皆様との関係づくりというようなお仕事もあり、多く熟したこともなく、全てが勉強であります。精一杯努めて参る所存でありますので、どうぞよろしく願いいたします。

公益社団法人全日本マネキン紹介事業協会会員の皆様、関係者の皆様方には、日頃から、厚生労働行政の推進、とりわけ、職業紹介事業に関係する行政運営の円滑な推進にご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

このたびの熊本地震により、熊本ご出身の黒田会長をはじめ、協会会員、関係者の皆様方にも被災された方がいらっしゃるかと思います。改めて心からお見舞い申し上げます。この原稿を書いている時点で3か月が経過しましたが、被災された求職者の皆様方が早く仕事に就けるよう、人材を必要とする企業との適格なマッチングに、引き続き、最大限の御配慮をお願いいたします。

現職に着任し、初めて貴協会に挨拶にお伺いした際に、黒田会長自ら熊本の出身であるとい

うふうにお聞きし、私も平成19年7月から2年2か月余り佐賀での勤務経験があることを伝えると、佐賀はマネキン紹介所の登録がないよ、と教えていただき、確かに規模的にもないのかな、と思いつつ、お話を聞いていたような気がします。その後も、業界団体との懇親の場などにおいても、気軽にお声がけしていただいたり、訪問（まだ2回目ですが）の際にも、いろいろな情報など包み隠さずお話いただいたりと、協会皆様のお人柄に触れ、私個人としてどの団体よりも好感を持っております。

全紹協におかれましては、これまでも民間職業紹介事業の適正な運営、マッチング機能の強化、求職者のスキル向上等に向けて、様々な取組を行っていただいているところでありまして、引き続き、コンプライアンス意識強化等も含め、全紹協会員の皆様への支援に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

私ども行政としても、様々な課題に対応してまいります。全紹協の皆様方におかれましては、今後とも厚生労働行政の推進に対して、より一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それから、広報誌「マネキン」の創刊100号、大変におめでとうございます。これからも各種情報の発信元として「200号」さらに上を目指していただきたいと存じます。

最後に、黒田会長を始め、全紹協会員の皆様方のますますのご発展とご健勝を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

厚生労働省 人事異動

厚生労働省（新任）

2016年4月1日付

職業安定局 派遣・有期労働対策部 需給調整事業課
課長補佐 中野 知基

職業安定局 派遣・有期労働対策部 需給調整事業課
職業紹介事業係長 安齊 雅浩

職業安定局 派遣・有期労働対策部
企画課民間人材サービス推進室 室長補佐 田中 秀幸

2016年6月21日付

職業安定局 派遣・有期労働対策部長 鈴木 英二郎

職業安定局 派遣・有期労働対策部 企画課 課長 岸本 武史

職業安定局 派遣・有期労働対策部
企画課民間人材サービス推進室長 岩野 剛

職業安定局 派遣・有期労働対策部
企画課民間人材サービス育成係長 窪谷 慶太

公益社団法人全国民営職業紹介事業協会 人事異動

民紹協（新任）

2016年5月1日付

事務局次長 兼 総務課長 佐藤 珠己

業務第三課長 高橋 紀夫

（敬称略）

マネキン紹介業の歴史と道のり

マネキン紹介業の広報(100号)を記念致しまして、改めてマネキンの歴史資料などを紐といて見ました。半世紀以上にわたりマネキンの指導、育成、懇親の場として活動を展開、これもひとえに先人の会員の皆様のご努力の賜物と感慨ひとしおでございます。

マネキンの誕生は、美容家の山野千枝子氏の自除伝「光を求めて」参照ニューヨークの時代に、在米の舞踊家伊藤道朗氏と一緒に協力して一流デザイナーのファッション・ショーのアトラクションに生きた人間をモデルとしたショーを起用し、それを参考に昭和3年に高島屋百貨店で和装の流行を発表する百選会で、当時の映画スター酒井米子・菊地浪子をモデルとして初登場させて日本中で大評判となりそれが起源と言われています。その直後に当時の丸菱百貨店で、着物と帯の総合発表会にモデルとなる女性を募集して9名の女性を採用し、1日10円で各百貨店での派遣を実施、会は2割を手数料として徴収し倶楽部がスタートしたのがそもそもです。そこで名前を決める事になりましたが、フランスではマヌカンそのままでは当時としては一般に、なじみ難いとのことで、日本では昔から縁起ものとして招き猫があり、お金を招く、(マネキン)語呂もよいとなってマネキンという女性の新職業が誕生したのです。当時は、東大出の初任給が月給60円、早慶一流私大が、50円、高等出身者が45円というのが相場でしたのでマネキンの日給10円というのは破格の賃金だった訳です。こうして誕生したマネキンは、東京はもとより、京阪神、中京の一流百貨店、有力繊維問屋、化粧品、薬品メーカー、などから引張りだこで、求人が殺到し、二次、三次、の新人募集も行われて人数も次第に増えて新しい宣伝媒体としてマスコミからも女性の職業誕生として、もてはやされ急速に発展しました。これを機に東京マネキン倶楽部と名づけ昭和4年8月に日本マネキン倶楽部



昭和36年11月12日 全国マネキン紹介所連合会 創立総会

と改称しました。相つき東京、関西、と続々と設立されマネキンはスター的存在で、売場では特設会場でマイクを使って実演集客を行い、一人のマネキンに専門の販売員2名付いて宣伝販売効果を同時に行い、これが、マネキン紹介所の始まりで北海道はもとより九州、韓国、台湾、中国満州、北支、京城、奉天、まで活躍の舞台を拡げていきました。マネキンの発展につれて、メーカー専属のマネキンを養成し全国で実演販売をして大いに成果を上げました。

当時、日本マネキン倶楽部の駒井玲子氏は有名マネキンの一人として昭和8年阪急でマネキンとして出演、ミス・シセイドウの二週間の養成期間に協力していました。

昭和8年9月ミス・シセイドウ着手、半年の養成期間を得て昭和9年4月、現在の資生堂美容部員の原型が生まれたのでございます。

また、昭和9年には森永スイートガール女子宣伝隊にのちの蒲田の女優に桑野通子さんがスカウトされたそうです。

マスター化粧品では男装の麗人として圧倒的な人気の水の江滝子氏が専属契約を結びマスター・ビューティー・ガールという専属マネキンが昭和10に養成されました。その頃三越美容部主任小口みち子さんの指導で高卒の女子30・40名を当時預かり、化粧法の実演販売を練習教育した方もマネキン紹介所の方です。当時のマネキン倶楽部は16社ほどで、日本マネキン倶楽部、不二マネキン、

京都マネキン、星マネキン、名前は変わっていますが、現在も全協協に所属し活躍しております。

ご承知の職業安定法が昭和23年3月1日から施行され神田橋公共職業安定所の(竹村一男所長)は当時、女子の求職求人職業を扱う専門の安定所でしたが、マネキンさんの規制と倶楽部の取締りが始まりGHQの命令で、マネキンさんは日雇労働者となり、総数200名程度マネキンさんは動揺し生活の手段を禁じられるのではと不安を訴え、問屋、メーカー側も成り行きに当惑し随分心配されたようです。そんな訳で請いにいたしました、求人者側の方が当時の両国橋のミツワ石鹸本社ビル2階会議室でマネキン倶楽部の経営者、マネキンさんの代表、化粧品メーカーの代表にお集り願ひ、当局からは都労働局、神田橋職業安定所の担当官も、ご出席願って数回にわたって懇談会を開きマネキン就業の実情を詳しくお聞き取り願ひまして、その結果、神田橋職業安定所の所長(竹村一男)の英断で次のような裁定を下されました。

- 1、職業安定法第32条の有料職業紹介事業としてマネキンはまだ特殊技能者として認められていない。これを特殊技能者として認めて貰って民営紹介が行えるように至急陳情書を提出せよ。
- 2、これまでのマネキン倶楽部経営者は直ちに廃業届けを提出し、所属マネキンは神田橋公共職業安定所に日雇労働者として登録する。
- 3、前期の陳情が労働省中央職業安定審議会で承認される見通しがついたら、財団法人日本粧業会はマネキン紹介所の許可申請書を提出する。
- 4、正式許可があるまでの過渡期間は、神田橋公共職業安定所は(財)日本粧業会に対して紹介の実務を代行させる。
- 5、日本粧業会は無償でこの業務を代行し職業安定法に反しないように経験者をして紹介業務に当り、これを監督する義務を引き受ける。

「日本粧業」新聞22年11月20日号社告、そこで(財)日本粧業会理事長松本昇(資生堂社長)名義で、労働大臣に陳情書を提出、正式に(特殊技能職種)として許可が下りたときは紹介の実務を晴れて、できることになりました。昭和24年5月、中央職業安定審議会から法第32条の除外業種としてマネキンを追加すべきという答案が労働大臣に提出されて、7月18日付けで日本粧業会宣伝サービス部に対してマネキン有料職業紹介の許可が下りたのです。その時は4社で、竹村所長の英断は誠に花も実もある行政指導だった訳です。

マネキンは引き続き百貨店で安心して働けるようになりました。様々な事情があり当時(財)日本粧業会に尽力を注いだのが日美社の故久保田照美氏(東京都マネキン幹旋業者組合会長)と日本マネキンの故鈴木克氏(全日本マネキン紹介事業協会会長)で昭和32年3月に18社が起動に乗る事が出来たそうです。当時、何らかの事情で日本粧業を脱退した、4社は株式会社電通の傘下で辰巳社マネキンを設立する事になりました。(株)電通は、今でこそ世界一を誇る広告会社ですが、当時は、広告の鬼と言われていました吉田秀雄社長が、それは、町のサンドイッチマンから銭湯のペンキ広告に至るまで手掛け、その中で紹介所は戦前、ヘチマコロン宣伝部長でした斉藤壬夫氏が責任者でしたが、間もなく、朝鮮戦争が勃発してラジオ民放局が各地に設立されまして、電通の優秀なマスコミ人材が全国でその手腕を発揮するようになりまして、後の電通の大飛躍の基盤になって行ったようです。



昭和55年11月7日 社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 創立総会

そんな訳でマネキン紹介所はとて廣告代理業の手に負えるものではないと、辰巳社に引き取られたそうです。マネキン全盛時代には様々なことがあり、買い手市場でしたから、求人者の卸商社、勤務先の百貨店の担当者の中には、マネキンに無理を強い時にはマネキンの人格を無視するという心無い言動をする人も皆無ではありませんでしたが、歴代の会長は敢然と抗議し、マネキンを擁護し、その代わりにマネキンに対しては厳しい躰を行い特殊技能者としての自覚と仕事に情熱を傾ける教育をなされたそうです。高度成長時代にはそれぞれに大きな質的变化をとげて繁忙期のお中元、お歳暮の店頭の見数要員が多かったものですが、その後、素質のある人は次第に実力を発揮、本店員以上の商品知識や販売力を持つ人が増えて。またそれに伴い長期安定を求めて問屋商社の派遣店員になった人も増えました。同業の新規許可業者の異常な増加に関心を奪われてマネキンの教育訓練がおろそかになって行ったのも事実です。昭和48年の石油ショック時代のころまで続いたことも事実です。

求人者の商社百貨店がマネキンに求めたことは、ただ売上の増大に奔走したのも当然といえましょう。長期不況の中で甚だ酷な考えというべきでしょう。マネキン紹介業者の数も次第に増え、且つ共同して対処しなければならない問題が続々と出てきましたのでマネキン紹介所の親睦提携の機関として先ず東京で同業者の組合を作られました。この時に、この事業は女性経営者が多く、数少ない女性主体の団体だから女性を代表にと案が決まりました。関西でも日星社筆頭に同業の組合が出来ていましたが、労働局のご指導の下、昭和35年10月全国マネキン紹介所連合会が東京新橋第一ホテルを会場として結成され、全国5万のマネキンさんのその発展の歴史は華やかにスタートしました。

その後、昭和55年10月私共紹介所の念願でありました「(社団法人)全日本マネキン

紹介事業協会」として大きく飛躍、発展してまいりました。その節は、元厚労省出の田代裕理事に多大なるご尽力を賜りました。

そして、平成25年4月に「(公益社団法人)全日本マネキン紹介事業協会」に改定、前会長の国際人材パワーの高部鐵也様の協会に対する強い情熱を注いで下さいましたこと歴々と伝えられますことでしょう。

日本の流通業界の一端を担うまでにマネキン紹介事業が確立出来たのも諸先輩の方々のマネキン紹介業に賭けた熱い思いと、たゆまぬ努力の賜物であることに改めて思い、感謝と大きな誇りを実感してこれからも延々と進んで参ります。このマネキンの道のりを紐解きながら、会員の皆様も懐かしい紹介所名に時代背景をだぶらせて古きよき時代を回想しておられるのではと思います。半生期以上時の流れは大きく変わり日本の高度経済成長と、グローバル型経済社会への移行、この荒波を果敢に乗り越えて来た所長さんに取りまして広報はまさに心の拠り所であったと思います。現在は大変厳しい流動変化の時代ではございますが、協会も世代交代で、これからも先人の思いを引き継いで邁進して参りましょう。

広報部長 重田スミノ

参考文献

全国マネキン紹介所連合会 「マネキンの歴史」
昭和53年2月20日発行
社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 「写真でつづる全紹連・全紹協のあゆみ」平成16年4月1日発行



平成25年6月17日 公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会 定時社員総会

マネキン100号歴代回想録

広報100号記念に際して

株式会社 インテリジェントトーカー

村手 伸吾



広報100号おめでとうございます。長い歴史のある公益社団法人全日本マネキン紹介事業協会の会員として誇りに思います。厳しい状況の中だとは思いますが、今後も黒田会長を筆頭に組織一丸となって協会及び業界を盛り上げていただければと思っております。

当社も協会及び業界の為に微力ではありますが一生懸命、業務にまい進する所存でございます。

今後も協会及び業界のますますのご発展を祈っております。

100号記念に際して

有限会社 京都展美社マネキン紹介所

代表者 佐藤 隆昌



弊社は昭和34年に和・洋装ファッションに関連したマネキン紹介所として許可され、現在迄の57年間、地場産業では全国有数の呉服産業を中心にメーカー、百貨店の求人に対応してまいりました。姉が創業した当時は、未だ紹介所も少なく「グループ」と称する私的なメンバーが商社から直接に依頼され催事会場等で活動しておりました。経済状況に合わせて安定した需要と供給が求められる時代を迎えた時“経験豊かなマネキンさん”と信用をモットーに歩んできたスタッフにより幅広い紹介が可能になりました。最近規制緩和の影響もあり、派遣等々の乱立で危惧する状況です。正会員として、微力ですが、今後も求人先、マネキンさんの橋渡しを続けてまいります。

100号記念に際して

株式会社 札幌キャリアサポート

代表取締役 大谷 聖二



全紹協広報紙「マネキン」100号の発刊おめでとうございます。さて、当社と全紹協の関わりは、当社創業者の辰野藤雄が、昭和35年に設立された全国マネキン紹介所連合会からの会員であり、昭和55年に社団法人全日本マネキン紹介事業協会を設立した当初の副会長に就任したところから現在まで続いております。国立国会図書館の情報によりますと、全紹協広報紙「マネキン」の記念すべき第1号は昭和56年6月に発行されたとあり、既に35年の歴史があることとなります。その間、時々の広報担当者が苦勞をしながら、会員の役に立つ紙面を作り上げてきたことに心より感謝を申し上げたいと思います。今後も、その時々に必要な情報の提供をお願いし、お祝いとお礼といたします。

広報100号記念に際して

株式会社 ジョビア

代表取締役会長 吉備 カヨ



広報100号記念に際し、心よりお慶びを申し上げますと共に、これまで広報紙を発行するにあたり、ご尽力されましたご担当者の方々に心より御礼を申し上げたいと思います。今日の時世の流れにおいて、紙媒体の発行という事に対する賛否も分かれるところであるかと思いますが、私なりに改めて今後の広報紙の役割を考えてみますと、HPと共通の記事連載、求人者、行政等との対談、若手青年後継者のご意見、また我が社のマネキンさん自慢等、全国の会員を繋ぎ、また感動を共有できうる広報紙として更に進化していく事を期待しております。是非、会員の皆さまの職業紹介事業に対する熱意や思いをこれからもお寄せいただければ幸いです。

創刊100号に際して

株式会社 東京倶楽部マネキン紹介所
代表取締役 **高坂 孝治**

協会報創刊100号のお祝い申し上げます。創刊された昭和56年（1981）6月、日本は鈴木内閣時代、米国はジミー・カーター就任の年、経済は高度成長に向けて、ありあまる物の豊かな時代。時代は移り変わろうとも「商品のあるところにマネキンあり」の信条で、弊所は昭和26年（1951）労働大臣許可 東京倶楽部マネキン斡旋所として日本橋本町から出発しました。マネキンは「接客業のプロですから、挨拶と笑顔を絶やさないと」を基本として、スポンサーの啓蒙とプロとしての技能の研鑽を積み、マネキンの社会的地位を高めていきたいと65年刻んでます。協会の広報誌もこのマネキン業界団体の結束融和に努力し継続と発展の有る広報を心より祈念し、益々のご発展を申し上げます。

広報100号記念に際して

日星 株式会社

代表取締役 **近藤 嘉夫**



広報100号発行お目出とうございます。そして、有難うございます。一般的に物事は始めるのは簡単ですが、続けることは困難を極めます。結果として100号になったということは、その過程に非常に貴いものを感じています。

永年、広報に係わり貢献して下さいました多くの役員さん会員さんに深謝しています。広報は、マネキン紹介業を営む者にとってアイデンティティを確認させていただける大切な存在です。私達は、職業紹介を通じて社会に貢献しています。

そしてその見返りとして社会から生かされています。時代を超える普遍的な要素があるからこそこれだけ継続できたのだと思っています。

今後とも継続して、200号を目指して着実に歩み続けてほしいと願っています。

100号記念に際して

株式会社 富士ワークネット

代表取締役 **濱田 充裕**



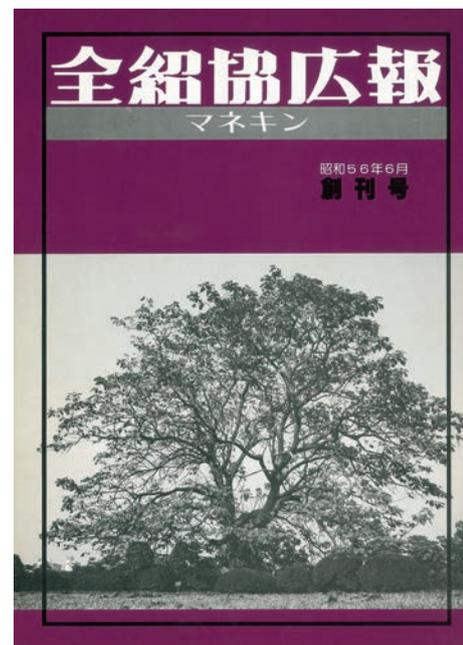
この度は広報紙100号を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。昭和56年創刊と知り改めて歴史ある広報誌である事に感動致しました。

当社は昭和38年に創業で当時20代だった先代は職業紹介の許可を頂くのに、足繁く行政に通いようやく許可を頂いたと聞いております。創刊号を読み返しご指導頂いた諸先輩方のお名前を拝見し感慨深い思いをいたしました。

また、初代会長の言葉で「マネキン事業は協同して解決し時勢を調整し発展方向に努める（簡略）」と仰ってます。現在まで変わらない不変の思いに広報誌は時代を繋いでいると感じました。

末筆ながら全紹協の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

100号の表紙の色は創刊号をイメージしました。



広報 創刊号（昭和56年6月発行）

ご希望の方にはPDFをメールでお送りします。
事務局までお問い合わせ下さい。

平成28年度 公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会

「定時社員総会」 「懇親会」

平成28年6月16日（木）午後1時より目黒雅叙園「花苑」にて公益社団法人 全日本マネキン紹介事業協会「定時社員総会」が開催されました。黒田会長よりこの1年間の会員各位の協力に感謝の意が述べられ、引き続き定款により黒田会長が議長席に着き、滞りなくすべての議案が承認されました。

総会終了後は休憩をはさみ午後3時45分から株式会社アスパイアエックス代表取締役の志水光一氏を講師にお迎えし、セミナー「マイナンバーと労務関係事務委託」「助成金の活用」「有料職業紹介事業の最近」を開催しました。全紹協として初めての試みでしたが、盛会で、出席者の好評を得ました。

午後6時より「孔雀」にて「懇親の夕べ」をご来賓の方々をお招きして開催、黒田会長の開会の辞で幕を開け、IT事業部長の齊藤理事の司会のもと、公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会 戸莉利和会長、厚生労働省 職業安定局 派遣・有期労働対策部企画課 阿部充課長のご祝辞をいただいた後、公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会 紀陸孝会長のご乾杯のご発声で華やかな宴がスタートしました。



平成28年度 公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会 定時社員総会・表彰式・懇親会

平成28年度公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会「定時社員総会」が平成28年6月17日（金）午後2時より「ホテルラングウッド」に於いて開催されました。紀陸会長のご挨拶で始まり、引き続き議事に入り、いずれの議案についても粛々と進行し、可決・承認となりました。

総会終了後は表彰式が厳かに行われ、「厚生労働大臣賞」「職業安定局長賞」「民紹協会長賞」受賞者の皆様が壇上に呼ばれ、授与されました。全紹協より、「厚生労働大臣賞」2名、「職業安定局長賞」4名「民紹協会長賞」5名の方々が受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

記念撮影の後、公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会副会長 米沢葵様のご挨拶で懇親会が開催され、普段はお会いできない他団体の方々やご来賓の方々との情報交換など、和気藹々のうちに終了いたしました。



「桜を見る会」に お招きをいただいて

株式会社 国際人材パワー沼津
片岡 喜志子



四月九日、さわやかに晴れ渡ったこの日、安倍総理大臣主催の「桜を見る会」にお招きいただき心より感謝申し上げます。

会場になった新宿御苑は前々日の雨が木々の緑をことさら鮮やかに彩り桜のはなびらがひらりひらりと舞い落ちる様はまさに桜花絢爛、樹木の数は一万本を超え、桜は六十五種千三百本もある広大な庭園で都心にいることさえ忘れてしまいそうな荘厳さとこれから始まる華やかな桜の宴に緊張と喜びで、胸がいっぱいになりました。

九時過ぎになり満開の桜の花の中を安倍総理大臣と官僚の方々がお着きになりました。

総理大臣は散りはじめたソメイヨシノと見ごろの八重桜を前に「私もソメイヨシノのような粘り腰と、まだ6部咲きの八重桜の思いで頑張りたい」とご挨拶され、そして乾杯の音頭をとられました。

今回は皇族、各国大臣、国会議員、自衛隊、消防士、さらに各界代表者、スポーツ選手、俳優、タレント、アイドルグループの方々約一万六千人が招待され、安倍総理は華やかな振袖やドレス、スーツ姿の招待者の方々と記念撮影に応じた後、花道でお見送りをしている方々に手を振りながら、足早にお帰りになりました。

広々とした美しい芝生と豪華絢爛の桜の花の素晴らしい風景の苑内で、このような貴重な体験をさせていただきました事は私の生涯の花となる幸せな一日でございました。

全紹協の黒田会長、重田広報部長のお気遣いのご配慮に心より感謝申し上げますと共に身に余る光栄と厚くお礼を申し上げます。

これを励みになお一層業務に励んでまいり所存でございます。誠にありがとうございました。



厚生労働大臣表彰を 受賞して



東商 株式会社

代表取締役 **小金井 敬**

厚生労働大臣表彰受賞にあたり、まず、今まで支えてくださった皆様への感謝をお伝えしたいと思います。取り立てて秀でるものが無い私がこの職業を継続して来られたのは、まわりの全ての皆様のおかげと、心から感謝しています。

ありがとうございます。

感謝すべき方々の人数をカウントするとしたら、全紹協会員の皆様・所属スタッフの皆様・取引会社の皆様・各方面関係会社の皆様・弊社社員…7,000人を超えるのだと改めて実感いたしました。多くの方々と深くかかわりを持ち、多くの方々と協力をしなければ続けられないこの業界の意味や重さを痛感いたしました。また、改めて、この業界で過ごしてきた自分を幸せだと思いました。

今回の受賞を機に、弊社の62年の歴史・自分自身の経験を振り返ってみました。

36年前に弊社初代社長である父 小金井実の元で一社員として勤務を始めた頃は、秋葉原の家電関連業界が全盛期でした。その後、電機メーカーの状況や業態が大きく変わり、弊社の取引先もアパレルファッション業界へとシフトしていきました。単に商品や業界のターゲットを変えていけば、それだけで売上げが取れた時代でした。その頃は求人がいくらでもあり、毎日集まっていらっしゃる求職者様はすぐにお仕事を得られ、全てが売上げに繋がりました。

そして私が経営側に立ってから、10年前のリーマンショックを皮切りに、社会情勢が変化し、東日本大震災や改正派遣法の問題でも影響を受け、最近ではEU問題という不安材料に直面しています。以前のように、小さな舵を切る程度では解決できない問題が多々あります。人材サービスへのニーズがより高度に多様化し、人口減少も相まって、自社だけでは解決が難しい問題が山積みです。

そして今、前向きな明るい材料として、東京オリンピックがあります。人口が減少しているとはいえ、若い世代の方々の夢や希望を叶えるお手伝いをする事により、明るい未来を見据えた成長ができると思っています。そのためにも、これまで以上に、皆様とご一緒に協力して取り組まなければいけない時代を迎えているのでしょうか。

人材ビジネスは、社会貢献をしていく事を目的としながら、健全な経営を継続することです。それを実現させるために、これまで以上に、皆様と目指す方向性をひとつにし、協働関係を深め、大きな目的達成のための一企業として、弊社は機能していきたいと考えております。

私が一番大切にしている言葉は【継続は力なり】です。これを今後も守り続け、スタッフ様・お取引先様・協力企業様の喜びを自身の喜びとして今後も50年100年と継続出来るような企業を目指すために邁進していきたいと切に思っております。

皆様への心からの深い感謝と共に、今後の皆様との更なる協働関係構築のお願いを
受賞にあたってのご挨拶とさせていただきます。

厚生労働大臣表彰を 受賞して

有限会社 スリーエス
代表取締役 **杉田 貴司**



この度、平成28年6月17日厚生労働省大臣表彰を受賞いたしました。

弊社は昭和61年2月19日に江戸川区西葛西で産声をあげました。以来、30年に亘り、販売において人と人を繋ぐ架け橋となる企業としてここまで成長を続けてこられましたのは、ひとえに協会での諸先輩方のお導きと皆様のご厚情の賜物と深く感謝しております。ここに心より御礼を申し上げます。

私が、「マネキン紹介会社」を起業致したのは、食品売場に長く従事しておりました、妻の努力に冠を贈りたいという気持ちから始まりました。売場を退職する妻に「所長」という冠を贈り、「マネキン紹介会社」という航海を二人でスタート致しました。経営は予想通り難航の連続、基盤が出来上がるまでには、4年程の月日を要しました。

販売は世の中の景気や、間近の情報が直接経営に影響します。しかし、一番大切なことは人と人を繋ぐ架け橋になること、そして、その架け橋をいつでも行き来できるということです。登録の販売員さんとの触れ合いの中で、どんな時も世の中の流れと、間近な情報を取り入れることに力を注いで参りました。有限会社スリーエスとして、妻との航海が10年、妻他界後の20年は、ひとり航海から、一人、二人と私の船に乗り込んでくれる方との出会いに恵まれました。

振り返れば!! これは妻からのカタチのない贈り物のように思います。“どんな時もここに会社が在りあり続けますように 生きる力を! 気持ちよく仕事に従事できるように 信じる力を! 困った時に 両手を差し出す 愛の力を!” という志しを残してくれたのだと、今、妻への冠を思い出しております。

これよりは、私が創った「マネキン紹介会社」を、私の人生にかけて守り抜きたいと強く決心いたしました。守り抜くことこそが、これからの「マネキン紹介会社」としての仕事であり、そして社会貢献であると考えます。皆様の期待にお応えできますように全力で前進して参ります。

浅学菲才な私ではございますが、これからも末永くご指導ご鞭撻を頂きますよう心よりお願い申し上げます御礼の挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

平成28年度 表彰受賞者

厚生労働大臣表彰

小金井 敬	東商 株式会社
杉田 貴司	有限会社 スリーエスマネキン紹介所

職業安定局長表彰

大河内春美	株式会社 ジョピア
酒井 幸子	株式会社 札幌キャリアサポート
西島 延子	株式会社 国際人材パワー沼津
古藤ちよ子	株式会社 西日本キャロット

民紹協会長表彰

角谷 恭子	株式会社 ジョピア
矢野 京子	株式会社 西日本キャロット
森口 絹代	株式会社 西日本キャロット
高武シゲ子	株式会社 西日本キャロット
越智 靖子	株式会社 西日本キャロット

各表彰の申請につきましては、各職業別団体（全紹協）から公益社団法人 全国民営職業紹介事業協会（民紹協）に候補者が申請され、それを受けた民紹協が厚生労働省に推薦するという形になります。推薦に関しては下記のような基準がありますので参考にして下さい。

I 厚生労働大臣表彰

① 職業紹介事業者	20年以上	50歳以上
② 職業紹介責任者	20年以上	50歳以上
③ 職業紹介事業従事者	25年以上	50歳以上

※事業所が労働局より「業務停止処分」「指導」「改善命令」「是正指導」を受けた場合は20年、「指導」を受けた場合は5年間の対象外となる。

II 職業安定局長表彰

① 登録求職者	求職登録期間	20年以上	50歳以上
---------	--------	-------	-------

III 民紹協会長表彰

(1) 優良職業紹介事業功労者等

① 職業紹介事業者等	15年以上	45歳以上
② 職業紹介責任者	20年以上	50歳以上
③ 職業紹介従事者	25年以上	50歳以上
④ 職業紹介関係団体役員	15年以上	45歳以上

(2) 優良職業紹介事業求職者

① 求職登録者	求職登録期間	10年以上	40歳以上
---------	--------	-------	-------



高澤清子様のご逝去を悼んで

高澤さんの声が聞けなくなる時が、現実に来るとは想像していませんでした。入院されていましたがお会い出来ましたが、元気な時の姿しか頭がないもので、また無事退院されることしか考えられなく、皆様との楽しい時のお話しか出てこなかったですね。高澤さんについて思い出しますことは、非常に気丈な方で、女性としての穏やかさの中にも、凛とした感性を持たれ、人を引き付ける魅力を感じさせる方でした。

全紹協の理事として永きにわたり、連絡会・総会と役職を全うされ、交友の広さと経験で良き相談相手となっていていただきました。北は北海道より南は九州にわたり全国各地で開催されていました当時の総会におかれましては終了後の懇親会、旅行では会員の皆様との対話も思い出深いことであったと存じます。全紹協を愛され、公私にけじめをつけられ、裏表のない方でした。その場にいらっしゃる時の存在感は、多くの先輩方の中でも際立っていました。

仕事を離れました時は、これからも記憶に残ることでしょうが、日本酒がお好きでしたね。歌も上手で、プロ並みでした。「ノラ」という歌が特に上手でした。その個性ある声量と間の取り方には、毎回聞き惚れ、すばらしいものでした。

4月14日の地震の際は入院中でしたが、熊本の同業者の事務所の方々の被害を心配され、ご自身でお見舞いの連絡が取れずに、もどかしい思いをしておられたと聞いております。日頃の高澤さんを思いますと、元気な声で、声をかけたく思っていたことと、気持ちをお伝えすることができなく、残念なことでしたでしょう。

この世に生を受け、何時かは後の人に生を渡していくのが世のならないとはいえ、残念なことです。ご冥福をお祈りいたします。

株式会社 アイダス・ユニバーサル
代表取締役 長畑 節夫

全紹協求人サイトのご報告、ご案内

昨年11月からサービスを開始いたしました、全紹協求人サイトは、申しいただきました28社をはじめ会員の皆様のおかげで、順調にスタートし、本年6月末で、8カ月経過しましたので、これまでのご報告と、あらためてのご案内をさせていただきます。

当サイトの特長、メリットにつきましては前号に記載しましたように、

1 低コスト

1社あたり原稿50枠で、1年間出稿無制限で年間料金が21万円からと破格の価格設定（詳細は料金表参照）

2 高い広告効果

GoogleおよびIndeedで検索されやすいように設計されていること
今後もIndeedでの検索順位を上げるための広告費やサイト充実のための費用投入が見込まれること

3 高い利便性

求人サイトに特化したjobmakerという管理システム使用のため、求人広告の出稿、管理、広告効果の測定を容易に行えること
の3つの特長がございます。

スタートから8カ月経過し、当サイトの広告原稿閲覧数は、延べ3万件強となり、応募者総数は250人を超えております。

前述しました3つの特長に応募という結果がついてきており、今以上の成果を上げるべく、様々な対策を講じていきたいと考えております。

今後求人サイトとしての認知度を益々上げていき、より多くの応募につなげていくためには、原稿数は多ければ多いほど良いとされており、またGoogleやIndeedの検索順位を上げるためにも原稿数の増加が必須と考えられますので、すでに申込されている会員の皆様にはより多くの原稿出稿をしていただき、また

申込をされていない会員の皆様には当サイトへの申込をご検討いただきたくお願い申し上げます。

全紹協求人サイトURL：<http://zensyokyo.org/>

全紹協求人サイト料金表（税別、1年間）

	関東	関西	東海	北海道・東北	甲信越・北陸	中国・四国	九州・沖縄
正規料金	¥500,000	¥450,000	¥400,000	¥350,000	¥350,000	¥350,000	¥350,000
会員料金	¥300,000	¥270,000	¥240,000	¥210,000	¥210,000	¥210,000	¥210,000

専務理事 牧野 伸男

「応募率を上げる求人原稿作成セミナー」開催

当協会では、全紹協求人サイトをより有効に使っていただくために、また各会員の皆様の自社ホームページでの求人広告作成にも生かしてもらう事を目的として、「応募率を上げる求人原稿作成セミナー」を（株）アドヴァンテージの中野社長を講師に招き、東京、大阪、福岡、札幌の4か所で開催いたしました。

セミナーには、全紹協求人サイト申込会員はもちろんのこと、それ以外の会員の方、また当サイトに興味をお持ちで、協会に入会の可能性のある非会員の方が参加していただき、概ねたいへん勉強になったと好評でした。

協会では今後もこのようなセミナーを開催し、皆様のお役に立てればと考えております。

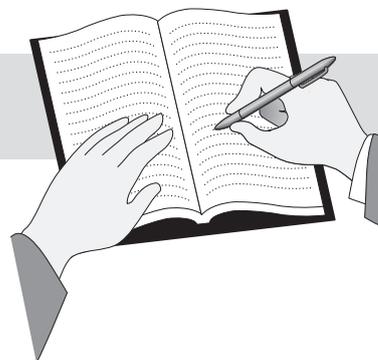


セミナーの実績

実施日	連絡会名	開催場所	出席者数
平成28年5月10日(火)	関西連絡会	新大阪生島ビル会議室(大阪府大阪市)	11名
平成28年5月13日(金)	関東連絡会	全紹協事務局(東京都千代田区)	13名
平成28年6月7日(火)	九州連絡会	(株)福さ屋本社ビル会議室 (福岡県福岡市)	12名
平成28年6月23日(木)	北海道連絡会	(株)札幌キャリアサポート講習室 (北海道札幌市)	11名

協会オリジナル手帳

活用法!



2017年版 リニューアルのお知らせ

(公社)全紹協から絶賛好評発売中の「オリジナル手帳・カレンダー」について、2017年版の変更点をご紹介します。

1) カラー変更

表紙カラーの黒・紺はそのままに、カラー展開を柔らかい色みと折柄模様が入ったクロスロード(パープル・グリーン・ホワイト)としました。それに伴い見返し用紙も明るいカラーに変更しました。

2) レイアウトの変更

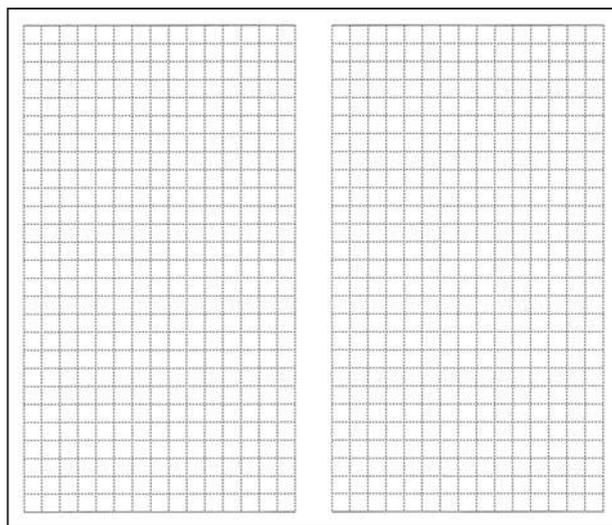
月計画表は、左列の横書き部分をフリースペースに、日曜祝日の網掛けを取り、書体も明朝体に変えて、スッキリ・シンプルなレイアウトとしました。またメモページを「ヨコケイ」から「方眼」に、巻末の月別売上表と店頭推移表をメモに変えページが増えました。

3) カレンダー品種の変更

卓上カレンダーのラインナップは、サイズや形状は従来のまま、レイアウトとカラーリングが新しくなりました。

17年版も様々な点においてリニューアルを行っております。協会オリジナル手帳は、使いやすいよ

1	January 2017						
memo	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
							1 祝日 元旦
	2 祝日 振替休日	3 火曜	4 水曜	5 木曜	6 金曜	7 土曜	8 日曜
	9 火曜 成人の日	10 水曜	11 木曜	12 金曜	13 土曜	14 日曜	15 月曜
	16 水曜	17 木曜	18 金曜	19 土曜	20 日曜	21 月曜	22 火曜
	23 木曜	24 金曜	25 土曜	26 日曜	27 月曜	28 火曜	29 水曜
	30 木曜	31 金曜					



うに毎年リニューアルを重ねています。求人先にプロの販売員さんとしてご紹介できるよう、手帳をフル活用して販売に従事していただければと考えております。

『百貨店食品安全衛生パスポート』

第8版の発刊について

全紹協では『百貨店食品安全衛生パスポート第8版』を会員の皆様へ頒布させていただき運びとなりました。この冊子は日本百貨店協会より発行され、多数の販売員に携帯用ポケット版教育ツールとして活用されております。特に第8版は本年6月に大幅改定を行い、最新の情報が満載されております。

7月に頒布のご案内をいたしましたところ、多数のお申込みをいただきました。まだ導入されていない事業者様も是非ともご検討くださいますようお願い申し上げます。

1. おもな改訂内容

この度、食品衛生法、JAS法、健康増進法の3法の食品表示に関する規定を一元化し、消費者と事業者の双方にとって分かりやすい表示の実現を図る制度として平成27年4月1日、「食品表示法」が施行されました。新しい食品表示制度は経過措置期間が設けられており、期間中は上記3法で定められた表示基準(旧基準)による表記が認められています。今回のパスポートではこの措置を受け、「旧基準」と「新基準」の双方を掲載し、適切な表示のルールについて説明しております。

(1) P18～78

「商品の表示」を大幅改定

- ・加工食品と生鮮食品の区分の統一
- ・アレルギーの表示方法の変更
- ・原材料名の表示方法の変更
- ・栄養成分表示の義務化
- ・製造所固有記号の使用法
- ・「機能性食品表示」制度の新設 などを追加



(2) P81～91

「食中毒予防方法」を最新の情報を追加

2. 販売価格・送料について

- (1) 一般の販売価格は1冊につき350円(税込)ですが、会員の皆様には250円(税込)にて頒布させていただきます。
- (2) 送料は100冊以上お買上の場合には全紹協にて負担させていただきます。100冊未満は着払いとなります。

※お問い合わせは事務局までお願い申し上げます。

販売事業部長 吉備 カヨ

平成28年度 従事者研修会のお知らせ

日 程 表

連絡会名	実施日	会場	講義内容
九州	平成28年9月17日(土)	JR博多シティ会議室	プログラム参照
関西	平成28年11月17日(木)	エルおおさか会議室	//
関東	平成29年2月15日(水)	お茶の水ホテルジュラク	//
東海	平成29年2月16日(木)	ウインクあいち会議室	//
北海道	平成29年2月25日(土)	(株)札幌キャリアサポート研修室	//

プログラム

※連絡会により開始時間が異なることがあります。

<受付> 10:00~10:15		
10:15~10:20	オリエンテーション 司会	(公社) 全日本マネキン紹介事業協会 担当者
10:20~10:30	開講挨拶	(公社) 全日本マネキン紹介事業協会 会長 黒田 孝二
	研 修 内 容	講 師
10:30~12:00	「適正な事業運営について」 “最近の指導事例より”	厚生労働省 東京労働局 職業安定部 需給調整事業課 担当官
12:00~13:00		昼 食
13:00~14:30	「有期雇用紹介における 紛争・問題事例」 “過去の紛争事例を学び求人者・ 求職者の信頼を得よう”	(社) 日本人材紹介事業協会 相談室長 岸 健二 氏
14:30~14:45		休 憩
14:45~16:15	【グループディスカッション】 『紛争を未然に防ぐための 方策と対応を考える』	ファシリテーター (公社) 全日本マネキン紹介事業協会 教育福祉担当理事 大谷 聖二
16:15~16:20	閉講挨拶	(公社) 全日本マネキン紹介事業協会 担当者

「そろそろ、本音で語ろう!の会」 開催のお知らせ

全紹協会員による意見交換会も3年目を迎えます。今年度は黒田会長のお膝もとでもある熊本にて開催することに決定いたしました。被災地の一日も早い復興を支援するため、会員の皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

日時：平成28年10月18日（火）午後1時より

場所：KKRホテル熊本 <http://www.kkr-hotel-kumamoto.com>

【所在地】〒860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町3-31

【電話】096-355-0121（代表）

- ・市電（熊本城・市役所前下車）…徒歩6分（熊本交通局）
 - ・バス（市役所前下車）…徒歩6分（熊本交通センター）
 - ・熊本駅から…車で11分（JR九州熊本支社）
 - ・阿蘇くまもと空港から…車で40分（阿蘇くまもと空港）
JR豊肥本線は運休・遅延が頻発しております。タクシーまたはバスをご利用ください。
 - ・九州自動車道・熊本ICから国道57号線経由（9km / 約25分）
 - ・九州自動車道・植木ICから国道3号線経由（14km / 約30分）
- 駐車場 90台完備（NEXCO西日本）



事務局だより

熊本地震による被災者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧を祈っております

◆ 入会

北海道連絡会

パーソナル札幌 株式会社

今尾 和正 平成28年7月1日

浜名マネキン紹介所 濱名 壽子 平成28年7月1日

賛助会員

株式会社 アドヴァンテージ

中野 尚範 平成28年7月5日

◆ 退会

関西連絡会

有限会社 姫路マネキン紹介所

是川 誠 平成28年2月12日

株式会社 華祥 山本 真司 平成28年2月15日

東海連絡会

株式会社 静岡マネキン紹介所

鈴木 誠 平成28年3月17日

◆ 会員名変更

関東連絡会

株式会社 信和マネキン紹介所

武田 正司 平成28年3月25日

東亜 株式会社 マネキン紹介所

森田 純 平成28年6月24日

株式会社 清友 上野 修 平成28年6月29日

関西連絡会

近畿中央ビジネス 株式会社

高橋 拓司 平成28年7月1日

◆ 訃報

関東連絡会

株式会社 信和マネキン紹介所

和田 トミ 平成28年1月9日

株式会社 清友 高澤 清子 平成28年6月8日

◆ 全紹協事務局長 紹介

本年6月より事務局長に就任いたしました。縁の下の力持ちとして、皆様のお役に立てるよう精進してまいります。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



事務局へ電話での問合せについて

1. 協会会員からの問合せ（抜粋）

事務的な問合せ

マイナンバー問題も落ち着き、事務的庶務的な問合せが多数を占めました。

2. 求職者からの問合せ

マネキン紹介所の所在地・連絡先との問合せが多数を占めました。

希望の勤務地・職種を聴き取り、希望に添えると思われる紹介所をご案内しました。

なお、紹介所とのトラブルに関する問合せも3件ありました。マネキンへのパワハラ、セクハラ、賃金不払い等のトラブルについては労働局への相

談を提案するとともに、契約時に許可営業所であることを確認するよう提言しました。（相談者は紹介所名を言うことを渋っていましたが3件中2件は全紹協の会員ではありませんでした。1件の紹介所名は不明です。）

3. 会員外からの問合せ

会員事業所の所在地・連絡先等の詳細。

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
協会会員	1	3	2	3	1	2	2	4	18
求職者	1		2		2	1	3	2	11
その他	1				3	5	1	6	16
合計	3	3	4	3	6	8	6	12	45

編集後記

マネキン広報誌「100号」達成に感無量でございます。

そもそもマネキン紹介所とは、働く人に依っては安心で大切な拠り所であります。

ある種の“緩衝地帯”職業紹介所を径由して自分の道を極める者、環境によっては、紹介所を利用して働かなければならない求職者も全国的にも往々に実在しています。このメリットを雇用形態に関わらず、仕事を紹介する事によって救われる方がいるということマネキン業界は忘れてはいけなと思います。

そうした中でもマネキン紹介所は淘汰されるのではなく益々希少価値をアピールし、延々と継続して行くのは幾多の諸先輩達の恩返しとしなければなりません。

この記念すべき「100号」の発刊に携われましたことに心から感謝いたします。

広報部 重田

表紙写真撮影者：(株)太陽
牧野 明治（関西連絡会）

撮影者のコメント

「季節に合わせムクゲの花は咲いて道行く人々を楽しく見つめております。今年は天候不順で大変だと思いますが皆さまも健康一番無理なく花に負けずにお過ごしください」